

授業科目名	【G】 社会科・公民科指導法Ⅲ 【H】 社会科指導法Ⅰ	区分	開講年次	【G】2 【H】2	単位数	【G】2 【H】2		
科目区分	教科及び教科の指導法に関する科目							
授業形態	対面授業							
担当形態	単 独	【G】 教員の免許状取得のための必修科目(中一種免社会)、選択科目(高一種免公民) 【H】 教員の免許状取得のための必修科目(中一種免社会)、選択科目(高一種免公民)						
施行規則に定める科目区分又は事項等	各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)							
サブタイトル	教材研究は、社会科授業の生命線			担当者	後藤 雅彦			
授業概要	【概要】	<p>【実務(中学学校教諭)経験を活かした授業】 中学校における教育経験をもとに、学校現場で求められる基礎的な実践的指導力の育成を図る。</p> <p>【概要】 「社会科を教える」とは、実は大変である。地理・歴史・公民的分野すべてに精通していなければならない。しかも、こうした基本事項を「暗記」でカバーすること自体が、授業者としては間違っている。地味だが、一つ一つの学習内容に対する教材研究の積み重ねしかない。本授業では全員で分担して、その研究成果を共有する。</p>						
	【到達目標】	<p>○「社会科」学習内容のどの分野においても、基本事項について深く理解している。 ○社会的事象の背景や裏側にある問題を知るため、粘り強くその教材研究を進める力を身に付けることができる。 ○社会で起こる様々な出来事に興味関心を寄せ、進んで解決していこうとする言動や態度を備えている。</p>						
履修条件	社会科・公民科指導法入門(2023年度生までは社会科・公民科指導法Ⅰ)を履修済みの者。							
アクティブラーニングの方法	【-】	事前学習型	【-】	反転授業	【○】	調査学習	【-】	フィールドワーク
	【-】	双方向アンケート	【○】	グループワーク	【○】	対話・議論型授業	【-】	ロールプレイ
	【-】	プレゼンテーション	【-】	模擬授業	【-】	PBL	【-】	その他
ディプロマ・ポリシーとの関連性	DP(ディプロマ・ポリシー)①	- (当てはまらない)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)②	- (当てはまらない)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)③	◎ (よく当てはまる)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)④	- (当てはまらない)						
他科目との関連性	2024年度以降入学者以降は「社会科指導法Ⅰ」。2023年度以前入学者は「社会科・公民科指導法Ⅲ」の名称となる。 「社会科・公民科指導法入門(2023年度生までは社会科・公民科指導法Ⅰ)」(2年) 「社会科指導法Ⅱ(2023年度生までは社会科・公民科指導法Ⅱ)」(3年)							
教科書	『新しい社会 地理 [令和3年度]』東京書籍(中学校社会科用 文部科学省検定済教科書)、『新しい社会 歴史 [令和3年度]』東京書籍(中学校社会科用 文部科学省検定済教科書)、『新しい社会 公民 [令和3年度]』東京書籍(中学校社会科用 文部科学省検定済教科書)。※どれもすべて中古本可。							
参考書	文部科学省『中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 社会編』、文部科学省『高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 公民編』 田部俊充・田尻信壹・小松伸之『大学生のための中等社会科・地理歴史科・公民科概論』風間書房 原田智仁『社会科教育のルネサンスー実践知を求めてー』保育出版社							
評価方法	授業や演習への参加態度(30%)、課題への取組内容(30%)、各まとめテスト(40%)を総合して評価する。							
フィードバック方法	毎時間の「復習シート」、課題取組へのコメント							
評価基準	授業内容について、よく理解しており、応用力もある者には、その程度に応じて「S」または「A」とする。さらに授業内容の理解の程度に応じて、概ね理解しているを「B」、最低限の基礎力を備えているを「C」とし、以上「S」から「C」までを「合格」とする。 授業内容について、基礎力が不足しているを「D」、基礎力が著しく不足しているを「E」とし、「D」「E」を「不合格」とする。 なお、欠席超過や試験欠席等は「F」とし、「評価不能」とする。							

授業 科目名	【G】	社会科・公民科指導法Ⅲ	区 分	開講年次	【G】2	単位数	【G】2
	【H】	社会科指導法Ⅰ			【H】2		【H】2
授業回数	授業内容						
1	イントロダクションー授業の進め方と、教材研究を背負うということー 予習： 90分を目安に、「なぜ、社会科教師をめざすのか」再考する。 復習： 90分を目安に、教材を整え調べ学習に備える。						
2	学習内容の教材研究ー地理的分野① 世界地理他ー 予習： 90分を目安に、背景や問題を調べる。 復習： 90分を目安に、背景や問題を調べる。						
3	学習内容の教材研究ー地理的分野② 日本地理他ー 予習： 90分を目安に、背景や問題を調べる。 復習： 90分を目安に、背景や問題を調べる。						
4	学習内容の発表ー教材研究の成果① 前半グループー 予習： 90分を目安に、発表の準備をする。 復習： 90分を目安に、学習内容を整理する。						
5	学習内容の発表ー教材研究の成果② 後半グループー 予習： 90分を目安に、発表の準備をする。 復習： 90分を目安に、学習内容を整理する。						
6	学習内容の教材研究ー歴史的分野① 古代・中世・近世他ー 予習： 90分を目安に、背景や問題を調べる。 復習： 90分を目安に、背景や問題を調べる。						
7	学習内容の教材研究ー歴史的分野② 近代・現代他ー 予習： 90分を目安に、背景や問題を調べる。 復習： 90分を目安に、背景や問題を調べる。						
8	学習内容の発表ー教材研究の成果① 前半グループー 予習： 90分を目安に、発表の準備をする。 復習： 90分を目安に、学習内容を整理する。						
9	学習内容の発表ー教材研究の成果② 後半グループー 予習： 90分を目安に、発表の準備をする。 復習： 90分を目安に、学習内容を整理する。						
10	学習内容の再確認ー地理と歴史のまとめと振り返りー 予習： 90分を目安に、地理と歴史の学習内容を復習する。 復習： 90分を目安に、地理と歴史の学習内容を復習する。						
11	学習内容の教材研究ー公民的分野① 現代の政治他ー 予習： 90分を目安に、背景や問題を調べる。 復習： 90分を目安に、背景や問題を調べる。						
12	学習内容の教材研究ー公民的分野② 現代の経済他ー 予習： 90分を目安に、背景や問題を調べる。 復習： 90分を目安に、背景や問題を調べる。						
13	学習内容の発表ー教材研究の成果① 前半グループー 予習： 90分を目安に、発表の準備をする。 復習： 90分を目安に、学習内容を整理する。						
14	学習内容の発表ー教材研究の成果② 後半グループー 予習： 90分を目安に、発表の準備をする。 復習： 90分を目安に、学習内容を整理する。						
15	学習内容の再確認ー社会科学学習内容の全体をつかむー 予習： 90分を目安に、全学習内容を復習する。 復習： 90分を目安に、自分の追究分野やテーマを設定する。						
その他	全体履修人数に応じて成果発表時間を確保するため、多少の内容修正をする場合がある。また、常にポートフォリオ形式で授業資料等を分類整理する。						